

第1学年 体育科学習指導案

1. 単元名 「とびばこあそび」(7時間)

2. 指導を進めるにあたっての基本的な考え方

こんな子どもを
<ul style="list-style-type: none"> ○ 本学級の子どもたちは、1学期のマット遊びの学習において、いろいろな活動の中からめあてを立てて同じめあてをもつ者同士が集まって学習する経験をしている。しかし、自分が練習するのに一生懸命で、出来映えを見合ったり、友達のよい動きを真似したりしながら、かかわり合いを活かして課題解決をしている姿は少ない。 ○ 事前アンケートでは、とび箱遊びについて、87%の子どもが「とても好き」「好き」と答えている。理由としては、「いろんな跳び方に挑戦できるから」「高さに挑戦できるから」など挑戦欲求による楽しさが57%を占め、「教え合えるから」などかかわり合いによる楽しさは35%に留まり、友達とのかかわり合いのよさを感じている子どもは多くはない。 ○ マット遊びの学習において、技の習得につながる感覚を養う活動を多く取り入れたこともあり、全員が腕を使って体を支える経験をしているが、半数の子が身に付いていない。

こんな教材で	こんな支援で
<ul style="list-style-type: none"> ○ 跳び箱運動は、いろいろな跳び方で跳び箱を跳び越すことが楽しい運動である。自分に合った高さや向きの跳び箱を気持ちよく跳び越したり、新しい跳び方に挑戦して跳べるようになったときに大きな喜びを得られる運動である。 ○ いろいろな技につながる「基本の技」の学習経験を保障するために、「やってみる」段階では、ローテーションで全ての活動の場を経験させる。 ○ 「やってみる」段階における「基本の技」のポイントをより意識させ、「ひろげる」段階でより大きな動きで楽しみを味わわせるために、第4時において「基本の技」の跳び箱の段数を上げたり、新しい技を紹介したりする。 ○ 「ひろげる」段階で、できる技を活かしているいろいろな楽しみ方ができるように「やってみる」段階の活動を3時間確保し、「基本の技」の習得につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ グルーピングの方法について <ul style="list-style-type: none"> ・ 「慣れの運動」「やってみる」段階では、生活班でグループを組み、様々な活動の場でグループで協力しながらローテーションして遊ぶようにする。 ○ 場づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ・ 「慣れの運動」の場のつくり方を図示し、素早く安全に場づくりができるようにする。 ・ 「やってみる」段階では、どの子どもも抵抗なく取り組めるように子どもの身長に合った跳び箱を使用する。 ・ 子どもの実態に応じて楽しみ方や場を紹介し、自己の欲求・能力に応じて選ぶことができるようにする。 ○ 交流のさせ方について <ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の跳び方のよいところに気付かせる発問をしたりして、動きのポイントを明確にして子どもたち同士で見合えるようにする。 ・ 「励まし・動きのアドバイス・楽しみ方」の視点から子どもたちの発言や活動を認め、紹介し合う場として「見つけた宝紹介ボード」を掲示し、活用する。

めざす子どもの姿
<ul style="list-style-type: none"> ○ 跳び箱を使って、跳び乗ったり、跳び下りたり、跳びこしたり、楽しく遊ぶことができる。(技能) ○ きまりや安全に気をつけて、進んで跳び箱遊びに取り組み、友達とのかかわり合いの中で運動の楽しさや喜びを感じることができる。(態度) ○ 友達の動きを見て、真似たり工夫したりしようとすることができる。(思考・判断)

4. 本時学習

(1) 本時 月 日 () 体育館

(2) 本時の目標

- 友達と力を合わせたり、励まし合ったりしながら運動の楽しさを感じ、主体的に活動することができる。(態度)
- 友達のよい動きを真似たり、楽しみ方を見つれたりしながら、遊ぶことができる。(思考・判断)

(3) 準備

教師：とび箱、マット、セーフティマット、踏切板、平均台、ビニルテープ、ゴムひも、
見つけた宝紹介ボード(ともだちパワーでとべるんジャー☆)、ポイントカード、CD ラジカセ
児童：学習ノート、筆記用具

5. 展開 (6/7)

配時	学習活動と内容	学習活動に即した支援
0	1 準備運動・慣れの運動をする。 ○ 準備運動 タイムボカン体操 ○ 慣れの運動 ヤッターマンの歌に流しながら ・うさぎとび ・かえるのあしうち ・平均台でよことび ・とびおり	※ 跳び箱遊びにおいてけがをしやすいところを中心に準備運動をする。 ※ 楽しく準備運動をするために、音楽に合わせて運動を行う。 ※ 正しい行い方で慣れの運動をしている子を称賛する。
7	2 めあてを確認する。 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ひろげる 新しい跳び方に挑戦したり、見つけた楽しみ方で遊んだりして、とべるんジャーを楽しもう。</div>	※ めあてと活動の場を確認させ、活動の見通しと意欲をもたせる。 ※ 見つけた宝紹介ボード(ともだちパワーでとべるんジャー☆)を掲示し、動きに気をつけたり、楽しみ方を見つれたりする手がかりとして活用する。
10	3 「ハイパーとべるんジャーランド」の活動を行う。 ① とびこえランド (かいきやくとび) ② じゃんけんランド (またぎのりからつなげた跳び箱の上を腕支持で移動) ③ びよんびよんランド (跳び箱にのったりリズムよくとびこしたりして楽しむ) ④ へんしんランド (しじでとびあがりからポーズを決めてとびおり) ⑤ なかよしランド (友達とリズムを合わせて遊ぶ) ⑥ びたっとランド (とびおり場所を指定してピタッと着地)	※ どの場も外側から内側に向かって行うように場を作り、どの場の子どもの様子も外から一目で見えるようにすることでけがや事故を未然に防ぐ。 ※ 場の近くに濡れ雑巾を用意し、手を湿らせることで、跳び箱の上で手を滑らせてけがをすることを未然に防ぐ。 ※ それぞれの場の近くに動きのポイントや楽しみ方を記したカードをさげ、よいところを見合ったり楽しみ方を確認したりできるようにする。 ※ 友達のよい動きを見つれたり、真似したりしながら活動できている子どもを積極的に称賛し、全体に広げる。
35	4 学習をふり返り、次時の学習の見通しをもつ。 ○ 学習ノートに活動のふり返りを書き、交流する。 ○ 後片付けをする。	※ できるようになったことやうれしかったことなどを発表させ、「励まし・動きのアドバイス・楽しみ方」の視点から子どもたちの発言や活動を認め、全体に広げる。 ※ けがや事故を防ぐため、安全に気をつけて片付けするよう声かけをする。
45		